

3面からつづき

支援するため、4月に亀戸子ども家庭支援センターを開設します。また、住吉地区の児童会館跡地に、子ども家庭支援センターとこども向け図書館を合築した複合施設「こどもプラザ」を5月に開設します。

増加する児童虐待への対策のひとつとして、子ども家庭支援センターでのアウトリーチ支援を区内全域で開始し、虐待が起きる前に芽を摘み取り組みを推進するとともに、虐待対応を担う子ども家庭総合支援拠点と連携し、区全体の子育て支援と虐待予防・対応を強化していきます。

スポーツ志向やボランティアマインドの育成

教育施策では、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーとして、これまでの取り組みにより高まった、こどもたちの「スポーツ志向」や「ボランティアマインド」などの資質を、小学生ボッチャ大会の実施やパラリンピアンによる心の教育授業などに展開し、今後も育成していきます。



▲パラリンピアンによる授業

区民の力で築く  
元気に輝くまち

中小企業支援と地域経済活性化

中小企業支援では、引き続き融資あっせんにおける事業者の利子負担の軽減を図るとともに、中小企業診断士との連携を強化し、きめ細かな相談を受けることができる体制を整備していきます。

商業振興では、地域経済の活性化に向けた、消費喚起策の一環として、プレミアム率20%の区内共通商品券の発行や、キャッシュレ

ス決済ポイント還元事業を実施し、経済活動の回復に向けた取り組みを推進します。

多様性を認め合う社会の実現

多様性を認め合う社会の実現については、差別や偏見をなくすため、より一層、人権尊重の意識啓発に取り組むとともに、「LGBT等相談」など社会状況の変化に沿った施策を、総合的かつ計画的に推進していきます。

夢の島総合運動場に  
スケートボードパークを整備



▲パーク内のセクションイメージ

スポーツ振興では、本区出身の堀米選手が初代金メダリストに輝き、関心の高まっているスケートボードについて、夢の島総合運動場にスケートボードパークを整備し、11月から利用を開始します。この整備には、クラウドファンディングを活用し、スケートボードパークの整備に賛同いただける方々の思いをレガシーとして受け継ぐ取り組みを実施します。

渋沢栄一とのつながりをPR

観光施策では、令和5年の旧渋沢家住宅の潮見への移築、令和6年の新1万円札発行に向けて、区内各所のゆかりの地に説明板を設置するほか、まちあるきマップの作成や各種イベントの開催により、渋沢栄一と本区とのつながりを区内外にPRしていきます。

ともに支えあい、健康に  
生き生きと暮らせるまち

こどもから高齢者まで  
切れ目なく支える

3歳児健康診査事業では、弱視発見率を向上させ、早期に適切な

治療につなげるため、新たに屈折検査を導入します。

高齢者施策では、特別養護老人ホームむつみ園が4月に、あそか園が6月に改築移転することに伴い、164人分の施設定員を増加します。

また、認知症の早期発見への取り組みとして、70歳を対象とした身近な医療機関での認知症検診を新たに開始します。

障害者施策の充実

障害者施策では、区内初となる障害者入所施設について、令和5年4月の開設に向けて着実に整備を進めていきます。

また、障害者(児)通所施設へ美術講師を派遣し、東京2020大会のレガシーであるパラアートのさらなる充実を図っていきます。



▲障害者(児)通所施設へ美術講師を派遣

地域福祉、生活支援を  
さらに推進

地域福祉と生活支援の充実では、本年3月に策定する「江東区成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、高齢者や障害者の権利擁護支援体制を充実させる取り組みを推進していきます。

まなびサポート事業では、まなび塾の通塾型の開催会場を3会場から4会場に拡充し、訪問型では新たに小学生を対象に加え、事業の充実を図ります。

住みよさを実感できる  
世界に誇れるまち

新たなまちづくりを推進

本年3月に改定する都市計画マスタープランでは、地区別ワーク

ショップ等による区民の提案や意見を反映するとともに、「地下鉄8号線延伸のまちづくり」、「浸水対応型のまちづくり」などを重点戦略として位置づけ、地域主体の新たなまちづくりを推進していきます。

老朽化する戸建て住宅等への対応については、老朽空き家等対策計画策定に向け、実態調査を行います。

防災対策のさらなる充実

防災対策では、洪水等の浸水想定区域内にある約700か所の「要配慮者利用施設」の策定する「避難確保計画」について、指導・助言を行うなど、実効性を高め、大規模水害時の安全な避難に繋がります。

長期計画の実現に向けて

安全・安心と支えあいを実感  
できる都市・江東を目指して

区民サービスの質の向上と効率的な区政運営を図るため、「江東区情報化推進プラン」に基づき、ICTの活用を図り、行政手続きのオンライン化を拡充するとともに、子育て情報ポータルサイトへのプログラム等予約機能の追加や、経営相談にWeb予約システムを導入するほか、Web会議用端末の配備拡充など、行政のデジタル化を着実に進めていきます。

また、「江東区行財政改革計画」を確実に推進するとともに、事務事業の見直しや、新たな施策の創出などを通じ、長期計画の着実な推進を図っていきます。

新型コロナウイルス感染症による影響は、区民生活のさまざまな分野に及んでいますが、「チーム江東」一丸となり、これらにしっかりと対応しつつ、「安全・安心と支えあいを実感できる都市・江東」の実現、さらには、未来の江東づくりに向け邁進していきます。



小学校中高学年期の子どもたち

高学年期に向けて

年度末になりました。こどもも親も、どんな中学年期でしたでしょうか？この1年で、困ったな、手強いなと感じたことも増えたかもしれません。でも同じくらい頼もしくグンと成長した姿も見られているのではないのでしょうか。

思春期の入り口で  
気をつけること

○根掘り葉掘り聞かないでそっとしておく  
自分で解決しようとすることも大切な自立への一歩です。いつもと明らかに様子が違うということであれば、基本的に見守ってあげましょう。○こどもが話したそうなら受けとめて聞く  
まだ甘えたいこともある時期です。話を聞くときは、アドバイスよりも聞くことに徹したほうがよいこともあります。○気分のムラがあることを知っておく  
昨日と今日で言っていることや機嫌が全く違うこともあります。できるだけおおらかに受け流しましょう。

高学年期の子どもたちの特徴

○身体の急激な変化  
第二次性徴が始まり身体が急激に変化します。その変化にこどもの心がついていけず、戸惑ったり不安になったりします。ホルモンバランスが崩れやすくなるため、ささいなことでも急に怒ったり、イライラしたりして家族に八つ当たりすることも多くなります。○親への「自立と依存」の両面感情  
親に心理的に依存している状態から、自立に向けて一歩踏み出します。口数が減り、そっけない返事ばかり返ってくるかと思えば、またわりついて話を聞いてほしいがたりします。自分の世界について、親からの口出しに反発したり、秘密も持つようになります。

長し「不安定な自分を安心して出せる相手」と思われているからかもしれません。試行錯誤しながら、こどもの時間をこっそり楽しみつつ、温かく見守ってあげてください。

問 地域教育課社会教育担当  
☎ (3647) 9676  
FAX (3647) 9274